

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月14日

上場会社名 スパークス・グループ株式会社 上場取引所 JASDAQ  
 コード番号 8739 URL <http://www.sparxgroup.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 修平  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 深見 正敏 TEL (03) 5437-9700

(百万円未満切捨)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	24,446	16.2	6,605	△7.8	7,031	△8.6	3,113	△10.2
19年3月期第3四半期	21,043	12.3	7,167	△37.2	7,694	△32.4	3,465	△40.2
19年3月期	27,504	—	9,650	—	10,119	—	3,779	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	1,563	35	1,521	02
19年3月期第3四半期	1,738	70	1,664	23
19年3月期	1,897	00	1,820	44

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第3四半期	82,641		51,914		58.3		24,408	22
19年3月期第3四半期	81,503		51,899		61.2		25,140	13
19年3月期	81,215		52,598		60.8		24,699	12

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年3月期	—		1,000	00	1,000	00
20年3月期(実績)	—		—		1,000	00
20年3月期(予想)	—		1,000	00		

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

当社グループの主たる事業である投信投資顧問業は、業績が経済情勢や相場環境によって大きな影響を受ける状況にあります。このため、当社グループの業績を予想し開示することは難しいと認識しております。したがって当社は、業績予想の開示に代えて四半期毎の実績開示が有益な情報であると考え、継続して実施しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社  
除外 ー社
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

平成19年4月1日から12月31日の9ヶ月間（以下、当第3四半期）における日経平均株価は、5月にかけて小型株指数が大きく下落する中、17,500円を挟んだ小動きの展開で推移しました。6月以降は、海外株式市場に比べて出遅れ感のある日本株に海外投資家からの注目が集まり、NYダウとS&P500指数が史上最高値をつけたことも相俟って、日経平均株価は、同月下旬には年初来高値に迫る18,297円まで上昇しました。しかしながら、7月中旬以降はサブプライムローン問題に起因して世界同時株安の様相を呈しました。9月以降は、欧米中央銀行による短期金融市場への資金供給や米連邦準備理事会（FRB）による追加利下げが行われたものの、欧米大手金融機関がサブプライムローンに伴う損失を相次いで発表したことにより、米国景気の後退懸念が強まってまいりました。日本株式市場は、このような欧米市場の影響を受け、10月下旬には一時15,000円を割り込む展開となりました。11月以降は株価も落ち着いた展開となりましたが、本格的な回復には至らず、当第3四半期の日経平均の終値は15,307円78銭となりました。

当第3四半期は、株価指数では、日経平均株価が11.5%、TOPIXが13.9%下落したほか、セクター別には、その他製品業が上昇率トップとなった一方で、業績悪化を懸念されたその他金融セクターが38.9%の下落となりました。

このような環境の下、当社グループの当第3四半期末における運用資産残高は、1兆5,738億円（前期末比11.5%減、前年同月末比16.4%減）となりました。

運用会社別では、スパークス・アセット・マネジメント株式会社及びSPARX International (Hong Kong) Limited（以下、「スパークス・アセット社」）の運用資産残高が9,033億円（同29.6%減、同34.5%減）、Cosmo Investment Management Co., Ltd.（以下、「コスモ社」）の運用資産残高が3,668億円（同41.8%増、同47.3%増）、PMA Capital Management Limited（以下、「PMA社」）の運用資産残高が3,035億円（同28.1%増、同19.3%増）となりました。

この結果、営業収益は残高報酬が前年同期比5.7%減の123億21百万円となりましたが、成功報酬が同34.6%増の102億17百万円、その他収益が同387.3%増の19億6百万円となり、全体では同16.2%増の244億46百万円となりました。

営業費用に関しましては、販売会社向け支払手数料の増加等を反映し、同10.3%増の31億60百万円となりました。また、一般管理費は人件費の増加及びのれん償却費の計上等により、同33.3%増の146億79百万円となりました。

これらの結果、営業利益は同7.8%減の66億5百万円となり、経常利益は同8.6%減の70億31百万円となりました。当期純利益は、投資有価証券の売却による特別利益を計上したものの、同10.2%減の31億13百万円となりました。

（注）平成19年12月末運用資産残高は一部速報値を使用しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、826億41百万円となり、前連結会計年度末比14億26百万円の増加となりました。その主な要因は、グループ運用ファンドへの投資及び投資有価証券の時価増等による投資有価証券の増加額61億11百万円によるものです。負債の部においては、賞与引当金27億83百万円等が増加の主な要因となっております。

なお、純資産は519億14百万円となり、自己資本比率は58.3%と当第3四半期において2.5ポイント低下しておりますが、これは利益の配当19億98百万円及び自己株式買付19億99百万円によるもの等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの収益の大半は投信投資顧問業に係る委託者報酬及び投資顧問料収入によって構成されております。通期の見通しにつきましては、当社グループの事業内容が国内外の経済情勢や相場環境によって大きな影響を受ける状況にあることから、業績を予想し開示することは難しいと認識しております。したがって当社は、業績予想の開示に代えて四半期毎の実績開示が有益な情報であると考え、継続して実施しております。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(連結子会社の決算日等に関する事項)

従来、連結子会社の第3四半期決算日が第3四半期連結決算日と異なる場合については、差異が3ヶ月を超えないため、第3四半期連結財務諸表作成に当たって、当該子会社の第3四半期決算日現在の第3四半期財務諸表を使用し、第3四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な修正を行って作成しておりました。当第3四半期連結会計期間より、当該連結子会社のうち、下記の会社については、第3四半期連結決算日で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

SPARX Finance S. A.

SPARX Investment & Research, USA, Inc.

SPARX Grlobal Strategies, Inc.

SPARX Overseas Ltd.

SPARX Value GP, LLC

SPARX Asset Management International, Ltd.

SPARX Securities, USA, LLC

SPARX International (Hong Kong) Limited

PMA Capital Management Limited

PMA Investment Advisors Limited

PMA Middle East FZ-LLC

PMA Capital Services Limited

PMA (Europe) LLP

なお、これによる損益への影響は軽微であります。

(有形固定資産の減価償却の方法)

当第3四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社においては、法人税法等の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法等に基づく方法に変更しております。

また、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については、改正前の法人税法等に基づく方法により償却可能限度額まで償却が終了した後、残存価額を翌連結会計年度から5年間にわたって備忘価額まで均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

これらによる損益への影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	15,131,619	13,315,494	△1,816,124	△12.0	14,914,709
2. 未収委託者報酬	975,637	800,544	△175,092	△17.9	825,222
3. 未収投資顧問料	5,267,790	7,460,232	2,192,441	41.6	4,868,106
4. 営業投資有価証券 売却未収入金	—	4,107,995	4,107,995	—	—
5. 有価証券	2,166,987	257,368	△1,909,619	△88.1	3,623,374
6. 営業投資有価証券	8,896,372	5,730,238	△3,166,134	△35.6	8,772,225
7. 前払費用	253,937	254,071	133	0.1	197,874
8. 預け金	676,000	679,813	3,813	0.6	2,896,054
9. 繰延税金資産	1,220,040	548,615	△671,425	△55.0	702,662
10. その他	793,057	2,046,680	1,253,623	158.1	444,927
流動資産合計	35,381,442	35,201,053	△180,388	△0.5	37,245,157
II 固定資産					
1. 有形固定資産	844,421	710,504	△133,916	△15.9	836,079
2. 無形固定資産					
(1) のれん	25,906,860	22,378,724	△3,528,135	△13.6	24,938,035
(2) その他	216,233	187,704	△28,528	△13.2	216,701
無形固定資産合計	26,123,093	22,566,429	△3,556,664	△13.6	25,154,736
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	18,364,316	23,197,806	4,833,489	26.3	17,086,591
(2) 差入保証金	693,320	702,629	9,308	1.3	687,824
(3) その他	96,949	263,556	166,607	171.8	205,417
投資その他の資産合計	19,154,586	24,163,992	5,009,405	26.2	17,979,834
固定資産合計	46,122,102	47,440,926	1,318,823	2.9	43,970,650
資産合計	81,503,544	82,641,979	1,138,435	1.4	81,215,807

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 短期借入金	4,500,000	4,153,478	△346,521	△7.7	4,000,000
2. 未払金	2,990,512	2,167,893	△822,619	△27.5	1,991,999
3. 未払法人税等	1,843,620	2,856,556	1,012,936	54.9	2,850,484
4. 賞与引当金	1,381,585	2,783,455	1,401,870	101.5	—
5. 役員賞与引当金	84,375	—	△84,375	—	—
6. 繰延税金負債	—	118,851	118,851	—	1,104,796
7. その他	60,138	123,183	63,045	104.8	266,457
流動負債合計	10,860,230	12,203,418	1,343,188	12.4	10,213,737
II 固定負債					
1. 社債	5,000,000	5,000,000	—	—	5,000,000
2. 長期借入金	12,000,000	12,000,000	—	—	12,000,000
3. 繰延税金負債	1,712,203	1,458,850	△253,352	△14.8	1,389,546
4. その他	31,130	65,365	34,234	110.0	13,723
固定負債合計	18,743,333	18,524,215	△219,117	△1.2	18,403,270
III 特別法上の準備金等					
1. 証券取引責任 準備金	49	49	—	—	49
特別法上の準備金 等合計	49	49	—	—	49
負債合計	29,603,613	30,727,683	1,124,070	3.8	28,617,056
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	11,700,858	11,913,433	212,574	1.8	11,806,019
2. 資本剰余金	13,587,267	13,799,971	212,703	1.6	13,692,557
3. 利益剰余金	20,681,672	21,626,447	944,775	4.6	20,996,018
4. 自己株式	△2,438,379	△4,438,336	△1,999,957	82.0	△2,438,379
株主資本合計	43,531,419	42,901,515	△629,903	△1.4	44,056,215
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差 額金	2,944,650	2,679,372	△265,278	△9.0	2,390,817
2. 為替換算調整勘定	3,418,790	2,611,081	△807,708	△23.6	2,908,462
評価・換算差額等合計	6,363,441	5,290,454	△1,072,986	△16.9	5,299,280
III 新株予約権	129	33,239	33,110	—	—
IV 少数株主持分	2,004,942	3,689,086	1,684,144	84.0	3,243,255
純資産合計	51,899,931	51,914,296	14,364	0.0	52,598,750
負債・純資産合計	81,503,544	82,641,979	1,138,435	1.4	81,215,807

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
I 営業収益	21,043,982	24,446,144	3,402,162	16.2	27,504,554
II 営業費用	2,864,294	3,160,738	296,443	10.3	3,969,815
III 一般管理費	11,011,857	14,679,789	3,667,931	33.3	13,884,356
営業利益	7,167,829	6,605,617	△562,212	△7.8	9,650,382
IV 営業外収益	677,113	856,933	179,820	26.6	799,136
V 営業外費用	150,883	430,861	279,977	185.6	330,365
経常利益	7,694,059	7,031,689	△662,369	△8.6	10,119,153
VI 特別利益	90,629	1,105,646	1,015,016	—	349,680
VII 特別損失	79,814	1,122,572	1,042,758	—	191,479
税金等調整前第3四 半期(当期)純利益	7,704,874	7,014,762	△690,111	△9.0	10,277,355
法人税等	3,885,685	—	—	—	—
法人税、住民税及び 事業税	—	4,039,954	154,268	4.0	5,387,925
過年度法人税等追徴 税額	—	—	—	—	314,560
過年度法人税等	—	23,512	23,512	—	—
法人税等調整額	△622,822	△819,624	△196,801	31.6	△260,287
少数株主利益	976,479	657,845	△318,634	△32.6	1,055,279
第3四半期(当期) 純利益	3,465,531	3,113,074	△352,457	△10.2	3,779,877

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第3四半期連結会計期間 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	11,619,418	11,239,281	19,369,969	△3,003,162	39,225,507
第3四半期連結会計期間中の変動額					
新株の発行	81,440	81,440	—	—	162,880
剰余金の配当(注)	—	—	△1,971,328	—	△1,971,328
役員賞与(注)	—	—	△182,500	—	△182,500
第3四半期純利益	—	—	3,465,531	—	3,465,531
自己株式の取得	—	—	—	△1,999,924	△1,999,924
自己株式の処分	—	2,266,545	—	2,564,707	4,831,253
株主資本以外の項目の第3四半期連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
第3四半期連結会計期間中の変動額合計	81,440	2,347,985	1,311,703	564,782	4,305,911
平成18年12月31日残高	11,700,858	13,587,267	20,681,672	△2,438,379	43,531,419

	評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計			
平成18年3月31日残高	1,797,472	△33,868	1,763,604	—	748,686	41,737,798
第3四半期連結会計期間中の変動額						
新株の発行	—	—	—	—	—	162,880
剰余金の配当(注)	—	—	—	—	—	△1,971,328
役員賞与(注)	—	—	—	—	—	△182,500
第3四半期純利益	—	—	—	—	—	3,465,531
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△1,999,924
自己株式の処分	—	—	—	—	—	4,831,253
株主資本以外の項目の第3四半期連結会計期間中の変動額(純額)	1,147,178	3,452,658	4,599,836	129	1,256,255	5,856,221
第3四半期連結会計期間中の変動額合計	1,147,178	3,452,658	4,599,836	129	1,256,255	10,162,132
平成18年12月31日残高	2,944,650	3,418,790	6,363,441	129	2,004,942	51,899,931

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

当第3四半期連結会計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	11,806,019	13,692,557	20,996,018	△2,438,379	44,056,215
第3四半期連結会計期間中の変動額					
新株の発行	107,413	107,413	—	—	214,827
剰余金の配当等	—	—	△2,191,533	—	△2,191,533
前期計上LLP利益分配金の修正	—	—	△291,111	—	△291,111
第3四半期純利益	—	—	3,113,074	—	3,113,074
自己株式の取得	—	—	—	△1,999,957	△1,999,957
株主資本以外の項目の第3四半期連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
第3四半期連結会計期間中の変動額合計	107,413	107,413	630,429	△1,999,957	△1,154,700
平成19年12月31日残高	11,913,433	13,799,971	21,626,447	△4,438,336	42,901,515

	評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計			
平成19年3月31日残高	2,390,817	2,908,462	5,299,280	—	3,243,255	52,598,750
第3四半期連結会計期間中の変動額						
新株の発行	—	—	—	—	—	214,827
剰余金の配当等	—	—	—	—	—	△2,191,533
前期計上LLP利益分配金の修正	—	—	—	—	—	△291,111
第3四半期純利益	—	—	—	—	—	3,113,074
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△1,999,957
株主資本以外の項目の第3四半期連結会計期間中の変動額(純額)	288,555	△297,380	△8,825	33,239	445,831	470,245
第3四半期連結会計期間中の変動額合計	288,555	△297,380	△8,825	33,239	445,831	△684,454
平成19年12月31日残高	2,679,372	2,611,081	5,290,454	33,239	3,689,086	51,914,296

前連結会計年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	11,619,418	11,239,281	19,369,969	△3,003,162	39,225,507
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	186,601	186,730	—	—	373,331
剰余金の配当(注)	—	—	△1,971,328	—	△1,971,328
役員賞与(注)	—	—	△182,500	—	△182,500
当期純利益	—	—	3,779,877	—	3,779,877
自己株式の取得	—	—	—	△1,999,924	△1,999,924
自己株式の処分	—	2,266,545	—	2,564,707	4,831,253
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
連結会計年度中の変動額合計	186,601	2,453,275	1,626,048	564,782	4,830,708
平成19年3月31日残高	11,806,019	13,692,557	20,996,018	△2,438,379	44,056,215

	評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計			
平成18年3月31日残高	1,797,472	△33,868	1,763,604	—	748,686	41,737,798
連結会計年度中の変動額						
新株の発行	—	—	—	△129	—	373,202
剰余金の配当(注)	—	—	—	—	—	△1,971,328
役員賞与(注)	—	—	—	—	—	△182,500
当期純利益	—	—	—	—	—	3,779,877
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△1,999,924
自己株式の処分	—	—	—	—	—	4,831,253
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	593,345	2,942,330	3,535,675	129	2,494,568	6,030,373
連結会計年度中の変動額合計	593,345	2,942,330	3,535,675	—	2,494,568	10,860,952
平成19年3月31日残高	2,390,817	2,908,462	5,299,280	—	3,243,255	52,598,750

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4) 注記事項  
(重要な後発事象)

前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
<p>1. 子会社の解散について 平成19年1月31日開催の当社及び連結子会社であるSPARX Global Strategies, Inc. の取締役会において、連結子会社であるSPARX Global Strategies, Inc. を解散する決議をいたしました。</p> <p>(1) 解散の理由 当社グループ内における海外業務の効率化に伴い、解散することとしました。</p> <p>(2) 解散子会社の概要</p> <p>① 商号 SPARX Global Strategies, Inc.</p> <p>② 所在地 Waikiki Trade Center, 2255 Kuhio Avenue, Suite 1620, Honolulu, Hawaii 96815, USA</p> <p>③ 代表者 タイチ ワカバヤシ</p> <p>④ 設立年月日 平成8年1月9日</p> <p>⑤ 資本の額 1,000米ドル</p> <p>⑥ 株主構成 スパークス・グループ株式会社(100%所有)</p> <p>⑦ 事業内容 グループ会社へのコンサルティング業務</p> <p>⑧ 業績(平成17年12月期) 売上高3,642千米ドル 経常利益373千米ドル 当期純利益228千米ドル</p> <p>⑨ 事業年度の末日 12月31日</p> <p>(3) 解散の日程 SPARX Global Strategies, Inc. 取締役会にて解散決議 平成19年1月31日 当社取締役会にて解散決議 平成19年1月31日 清算終了(予定) 平成19年12月末を目処に清算終了する予定</p> <p>(4) 業績に与える影響 当該連結子会社の解散による連結業績への影響は軽微であります。</p>	<p>1. 子会社への増資について 当社は平成20年1月30日開催の取締役会において、子会社であるSPARX Global Strategies, Inc. (以下「SGS」といいます。) への増資を決議し、1月31日に増資を実施いたしました。</p> <p>(1) 増資の理由 当社グループ内における海外業務の効率化に伴い、SGSは清算を予定しておりますが、清算までに発生する費用見込みが増加したため、所要資金を増資するものであります。</p> <p>(2) 子会社の概要</p> <p>① 商号 SPARX Global Strategies, Inc.</p> <p>② 主な事業内容 グループ会社へのコンサルティング業務</p> <p>③ 設立年月日 平成8年1月9日</p> <p>④ 本店所在地 米国ハワイ州</p> <p>⑤ 代表者名 Matthew Kubo</p> <p>⑥ 資本金の額 1,000米ドル</p> <p>⑦ 発行済株式数 100株</p> <p>⑧ 純資産 △171千米ドル (平成19年12月末現在)</p> <p>⑨ 総資産 796千米ドル (平成19年12月末現在)</p> <p>⑩ 事業年度の末日 12月31日</p> <p>⑪ 主要取引先 スパークス・アセット・マネジメント株式会社</p> <p>⑫ 大株主および持株比率 スパークス・グループ株式会社(直接100%)</p> <p>(3) 増資払込金額 650千米ドル(69,192千円)</p>	<p>—————</p>

6. その他

1. 当第3四半期の当社グループの連結営業収益の項目別内訳は以下のとおりです。

項目	前第3四半期		当第3四半期		平成19年3月期	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
1. 委託者報酬	3,867,416	18.4	2,217,545	9.1	4,746,235	17.3
うち残高報酬	(2,783,232)	(13.2)	(2,216,383)	(9.1)	(3,660,326)	(13.3)
うち成功報酬	(1,084,184)	(5.2)	(1,161)	(0.0)	(1,085,909)	(4.0)
2. 投資顧問料収入	16,785,258	79.8	20,321,882	83.1	22,066,310	80.2
うち残高報酬	(10,276,680)	(48.9)	(10,105,182)	(41.3)	(13,754,556)	(50.0)
うち成功報酬	(6,508,577)	(30.9)	(10,216,699)	(41.8)	(8,311,753)	(30.2)
小計(1.+2.)	20,652,674	98.2	22,539,427	92.2	26,812,545	97.5
うち残高報酬	(13,059,912)	(62.1)	(12,321,566)	(50.4)	(17,414,882)	(63.3)
うち成功報酬	(7,592,761)	(36.1)	(10,217,860)	(41.8)	(9,397,663)	(34.2)
3. その他	391,307	1.8	1,906,717	7.8	692,008	2.5
営業収益合計	21,043,982	100.0	24,446,144	100.0	27,504,554	100.0

(注) ( )書きは内訳数値です。

上記のように当社グループの収益の大半は投信投資顧問料収入によって構成されております。投信投資顧問料収入は、運用資産の残高に応じて計算される残高報酬と運用成績に応じて計算される成功報酬とに大別されます。このうち残高報酬は全ての投信投資顧問業の契約で受領することができます。また、成功報酬についても、投資家、販売会社等と交渉の上、可能な限り多くの契約で受領することができるようにしております。

・残高報酬

現在の報酬料率を基準に各運用手法の特性に基づき顧客との交渉を行っております。

残高報酬料率(ネット・ベース)の推移は以下のとおりです。

区分	前第3四半期	当第3四半期	平成19年3月期
当社グループ残高報酬料率 (ネット・ベース)	0.81%	0.83%	0.80%

(注) 1. 残高報酬料率(ネット・ベース) = (残高報酬 - 残高報酬に係る支払手数料) ÷ 期中平均運用資産残高  
当第1四半期より、残高報酬料率の算定方法を変更しております。なお、前第3四半期と平成19年3月期の当社グループ残高報酬料率についても、変更後の方法で算出しております。

従来の算定方法と同方法による残高報酬料率は、以下のとおりです。

残高報酬料率(ネット・ベース) = (残高報酬 - 残高報酬に係る支払手数料及び少数株主利益) ÷ 期中平均運用資産残高

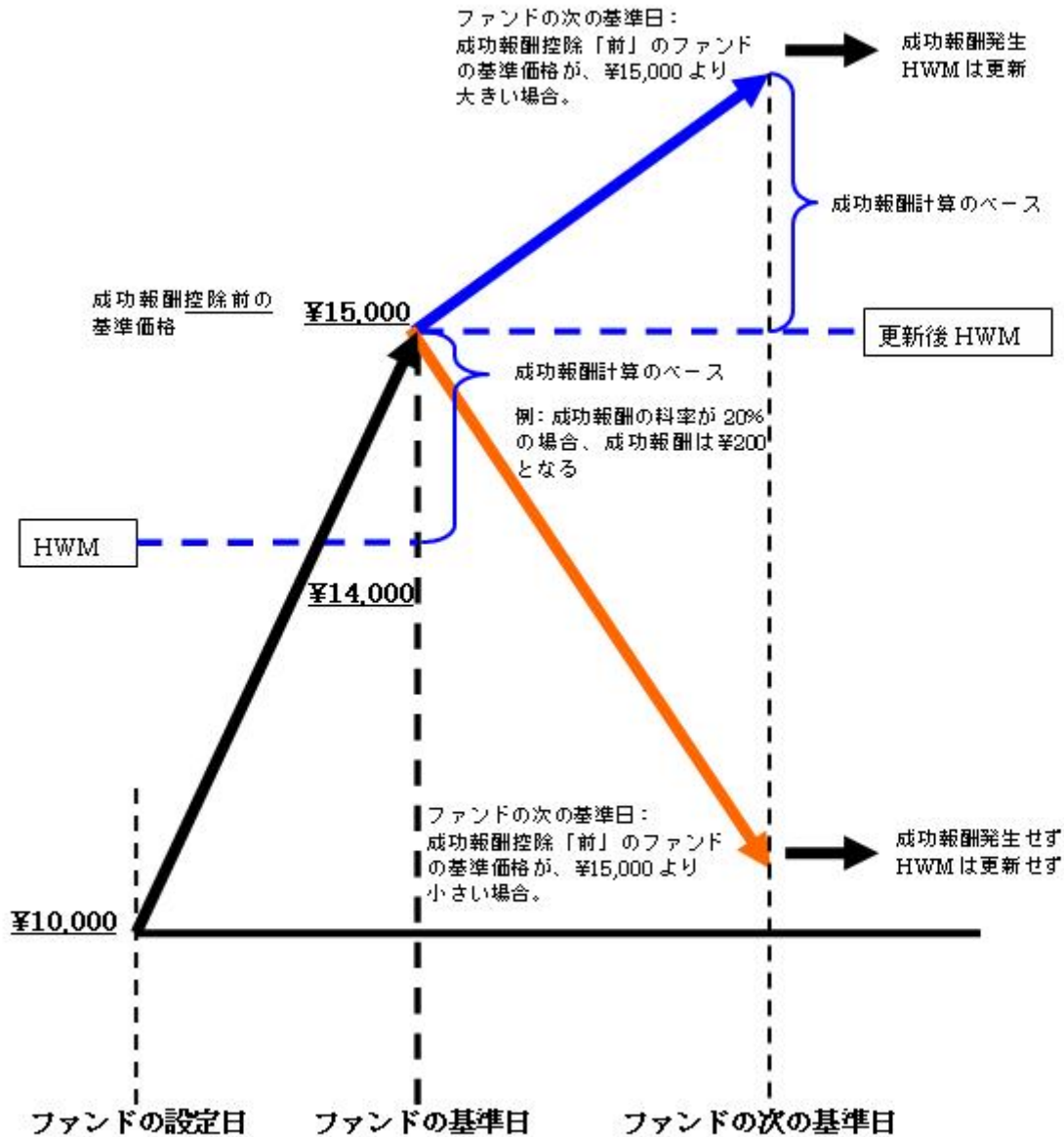
当第3四半期 0.80%、前第3四半期 0.78%、平成19年3月期 0.78%

(注) 2. 前第3四半期及び平成19年3月期におけるPMA社の残高報酬料率は、当社グループが同社株式を取得した日(平成18年6月19日)以降に発生した残高報酬を基に年換算しております。

・成功報酬

単純なケースでは過去の計算期間末日の「一口当たり純資産価額」=「Net Asset Value Per Share」(以下、「NAVPS」と言います。)の最高値を今計算期間末日のNAVPSと比較して、今計算期間のNAVPSの方が高かった場合は、値上がり部分に一定料率をかけ、年一回成功報酬として計算します(これを「ハイ・ウォーター・マーク方式」と言います)。また、一定のベンチマークに対するアウトパフォーマンスや絶対的な値上がりのパーセンテージなどのハードルレートを設け、それを上回った場合にのみ成功報酬を受領できる契約となっているものもあります。

絶対リターン追求型の運用に多いハイ・ウォーター・マーク (HWM) 方式の成功報酬の仕組み



(注) 1. 上記の図は成功報酬の仕組みを簡便に説明したもので、実際の成功報酬の体系及びファンドの基準価格の計算方法を厳密に説明しているものではありません。

(注) 2. 上記では、説明の都合上、成功報酬の料率を便宜的に20%として計算しております。

2. 運用資産残高の状況

以下の表は、当社グループ（スパークス・アセット社、コスモ社、PMA社）の当第3四半期運用資産残高の状況を示したものです。

以下、数値は当社の持分に係らず運用資産残高の100%を記載しておりますが、当社以外の出資者持分については少数株主損益が計上されます。当社の持分が100%未満のグループ会社の当社持分は以下のとおりであります。

会社名	当社持分
コスモ社	51.9%
SPARX Value GP, LLC	70.0%

■会社別の内訳

① 当第3四半期の月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

会社名	平成19年6月	平成19年9月	平成19年12月
スパークス・アセット社	12,481	10,726	9,033
コスモ社	3,575	3,910	3,668
PMA社	2,476	2,317	3,035
合計	18,533	16,954	15,738

- (注) 1. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。
2. 平成19年12月末の残高は一部速報値を使用しております。

② 平均運用資産残高の推移

(単位：億円)

会社名	前第3四半期	当第3四半期	平成19年3月期
スパークス・アセット社	14,457	10,998	14,177
コスモ社	2,126	3,649	2,210
PMA社	2,587	2,470	2,535
平均運用資産残高	19,171	17,118	18,922

- (注) 1. 各期の月末運用資産残高の単純平均であります。
2. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。
3. 平成19年12月末の残高は一部速報値を使用しております。

③ 成功報酬付期末運用資産残高及び比率の推移

会社名		前第3四半期	当第3四半期	平成19年3月
スパークス・アセット社	残高(億円)	7,038	4,430	6,475
	比率(%)	51.0	49.1	50.5
コスモ社	残高(億円)	2,103	3,153	2,255
	比率(%)	84.5	86.0	87.2
PMA社	残高(億円)	2,545	2,340	2,370
	比率(%)	100.0	77.1	100.0
合計	残高(億円)	11,687	9,924	11,101
	比率(%)	62.1	63.1	62.4

- (注) 1. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記の金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。
2. 平成19年12月末の残高は一部速報値を使用しております。

■スパークス・アセット社運用資産残高の内訳

① 当第3四半期の投資戦略別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

投資戦略	平成19年6月	平成19年9月	平成19年12月
日本株式ロング・ショート投資戦略	2,406	1,894	1,613
日本株式集中投資戦略	611	562	555
ファンド・オブ・ファンズ投資戦略	832	906	905
日本株式一般投資戦略	4,117	3,571	2,957
日本株式中小型投資戦略	2,722	2,294	1,888
日本株式バリュー・クリエーション投資戦略	1,701	1,415	1,010
日本株式未公開株式投資戦略	70	62	55
その他	19	19	46
合計	12,481	10,726	9,033

- (注) 1. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記の金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。
2. 平成19年12月末の残高は一部速報値を使用しております。

② 当第3四半期の国内外別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

区分	平成19年6月	平成19年9月	平成19年12月
国内	3,796	3,356	2,943
国外	8,685	7,369	6,090
合計	12,481	10,726	9,033

- (注) 1. 国内・国外の区分けは、ファンドの場合はファンドが組成された地域、投資一任契約及び投資顧問契約の場合は契約相手方の所在地域によっております。
2. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記の金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。
3. 平成19年12月末の残高は一部速報値を使用しております。

③ 当第3四半期の契約形態別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

区分	平成19年6月	平成19年9月	平成19年12月
投資顧問業	10,244	8,748	7,198
投資信託委託業	2,237	1,978	1,834
合計	12,481	10,726	9,033

- (注) 1. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記の金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。
2. 平成19年12月末の残高は一部速報値を使用しております。

■コスモ社運用資産残高の内訳

① 当第3四半期の投資戦略別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

投資戦略	平成19年6月	平成19年9月	平成19年12月
韓国株式ロング・ショート投資戦略	525	518	501
韓国株式集中投資戦略	269	255	225
韓国株式一般投資戦略	974	1,108	969
韓国株式インデックス運用戦略	1,630	1,849	1,806
その他	175	178	165
合計	3,575	3,910	3,668

(注) 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記の金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。

■PMA社運用資産残高の内訳

① 当第3四半期の投資戦略別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

投資戦略	平成19年6月	平成19年9月	平成19年12月
アジア株式投資戦略	1,048	987	1,727
アジア・欧州債券投資戦略	1,307	1,193	1,209
アジア・マクロ投資戦略	120	136	99
合計	2,476	2,317	3,035

(注) 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記の金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。